

# 第30期 決算公告

## 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

和歌山市中之島2249番地

紀陽リース株式会社

代表取締役社長 楠本 真也

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>25,270,524,939</b>	<b>流動負債</b>	<b>11,933,394,862</b>
現金及び預金	463,234,152	買掛金	927,211,113
割賦債権	7,943,625,350	短期借入金	4,900,000,000
リース債権	777,358,385	長期借入金(一年以内返済)	5,868,120,000
リース投資資産	15,909,431,737	リース債務	4,008,100
賃貸料等未収入金	107,878,082	未払金	29,137,353
未収入金	1,193,500	未払費用	60,038,938
未収消費税	100,907,639	未払法人税等	32,000,700
前渡金	500,000	賃貸料等前受金	2,909,000
前払費用	58,037,419	預り金	60,339,291
その他の流動資産	1,075,544	前受収益	31,305,089
貸倒引当金	△ 92,716,869	その他の流動負債	3,363,233
<b>固定資産</b>	<b>276,150,937</b>	賞与引当金	14,962,045
(有形固定資産)	(54,493,316)	<b>固定負債</b>	<b>11,603,268,557</b>
賃貸資産	8,870,966	長期借入金	11,474,040,000
社用資産	45,622,350	リース債務	8,532,500
備品	33,081,750	退職給付引当金	100,000
リース賃借資産	12,540,600	繰延税金負債	120,596,057
(無形固定資産)	(46,582,772)	<b>負債合計</b>	<b>23,536,663,419</b>
その他の無形固定資産	46,582,772	<b>純資産の部</b>	
無形自社資産	45,475,572	科目	金額
電話加入権	1,107,200	<b>株主資本</b>	<b>1,926,615,685</b>
(投資その他の資産)	(175,074,849)	資本金	150,000,000
投資有価証券(株式)	151,147,900	資本剰余金	27,911
破産更生債権等	19,433,324	資本準備金	27,911
預託金	22,236,940	利益剰余金	1,776,587,774
貸倒引当金	△ 17,743,315	その他利益剰余金	1,776,587,774
		繰越利益剰余金	1,776,587,774
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>83,396,772</b>
		その他有価証券評価差額金	83,396,772
<b>資産合計</b>	<b>25,546,675,876</b>	<b>純資産合計</b>	<b>2,010,012,457</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>25,546,675,876</b>

# 損益計算書

(自 令和6年4月 1日  
至 令和7年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
売上高		
リース売上高	5,543,615,885	
割賦売上高	148,995,645	
その他の売上高	9,161,500	5,701,773,030
売上原価		
リース原価	5,042,833,442	
その他の売上原価	6,800,000	
資金原価	91,368,936	5,141,002,378
売上総利益		560,770,652
販売費及び一般管理費		427,396,940
営業利益		133,373,712
営業外収益		
雑収入	11,897,714	
貸倒引当金戻入	139,045,231	150,942,945
営業外費用		
雑損失	1,669,896	
返戻信用保険金	50,831	1,720,727
経常利益		282,595,930
特別損失		
固定資産売却損	2,352,411	
役員退職金	200,000	2,552,411
税引前当期純利益		280,043,519
法人税、住民税及び事業税		38,639,446
法人税等調整額		11,057,621
当期純利益		230,346,452

## 重要な会計方針

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券	時価のあるもの 時価法 時価のないもの 移動平均法による原価法
----------	------------------------------------

### 2. 減価償却の方法

賃貸資産	リース期間を償却年数とし、リース期間満了時の処分見積価額を残存価額とする定額法
------	-----------------------------------------

車輛及び備品	法人税法に定める定率法
--------	-------------

無形自社資産	法人税法に定める定額法
--------	-------------

リース賃借資産	リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法
---------	----------------------------

### 3. 引当金の計上基準

- |             |                                                |
|-------------|------------------------------------------------|
| (1) 貸倒引当金   | 債権の貸倒れによる損失に備えるため、資産の自己査定基準に基づき計上している。         |
| (2) 賞与引当金   | 従業員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当期の負担に係る金額を計上している。   |
| (3) 退職給付引当金 | 従業員の退職金の支給に備えるため、自己都合退職による期末要支給額に相当する額を計上している。 |

### 4. 収益・費用の計上基準

- |                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) ファイナンス・リース取引に係る売上高および原価の計上基準は、リース料を收受すべき時に売上高と売上原価を計上する方法により処理している。                 |
| (2) 割賦販売取引は、資産の販売等に係る契約の対価の額と現金販売価格との差額を利息に相当する金額と認識し、賦払金を收受すべき時に利息法により計上する方法により処理している。 |

### 5. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

### 6. 税効果会計を適用している。